

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	浜松学院中学校・高等学校体育館建築工事	階数	地上2F
建設地	静岡県浜松市中区高松一丁目1132-1138-1,1140-3,1101,1110-1,1111,1112	構造	S造
用途地域	第二種住居地域、第二種中高層住	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,000時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024/1/1 予定	評価の実施日	2023/9/15
敷地面積	26,714 m ²	作成者	株式会社公共設計
建築面積	2,363 m ²	確認日	2023/9/15
延床面積	3,062 m ²	確認者	株式会社公共設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 82% (92 kg-CO₂/年・m²)

③ 上記+②以外の: 82%

④ 上記+: 82%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

音環境	5.0
温熱環境	2.6
光・視環境	N.A.
空気質環境	3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

機能性	2.5
耐用性	3.9
対応性	3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.9

生物環境	1.0
まちなみ	4.0
地域性・	2.5

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

建物外皮の	4.8
自然エネ	4.0
設備システ	3.4
効率的	2.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

水資源	3.0
非再生材料の使用削減	2.7
汚染物質回避	3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	3.7
地域環境	2.3
周辺環境	3.4

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
これはCASBEE静岡(2016年版)による評価結果です 構造は鉄骨造とし、県基準の耐震構造(基準法の1.5倍)としている 外部負荷の軽減のために屋根部を外断熱するとともに、高効率設備機器を採用している		風致地区内に位置し神社に隣接すると同時にバイパス道路に面する立地であるため、周辺環境との調和と良好な沿道空間の創出を念頭に、外構+建物を一体的に計画している
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
F★★★★★建材を全面的に採用し、全館喫煙とするなど、空気質環境にも十分配慮している	階高を高く設定し、空間にゆとりをもたせている	緑地を設けることにより、良好な景観を形成している 外構の空間提供による地域貢献に配慮し、1階に幅広の庇を設け建物内外の中間領域の形成に配慮している 街灯の役割をもつ外部照明を設置し防犯性に配慮している
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
床、壁、屋根に断熱材を設け、建物の熱負荷を抑制している 高効率空調機器の採用 BPI _m =0.86	パネル部材や乾式工法を採用するなど、部材の再利用可能性向上への取り組みをしている	アプローチの開口を広く取り、導入路を長くする取り組みにより、周辺道路の渋滞と、歩道での自転車滞留が発生しにくいように配慮している 広告照明無し

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	浜松学院中学校・高等学校体育館建築工事	BEE	1.2	BEEランク	B+	★★★

2. 重点項目への取組み度					
重点項目	得点*/満点	取組み度	評価		
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.0	/5		ふつう	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.6	/5		ふつう	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.0	/5		ふつう	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.4	/5		がんばろう	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		得点	3.0
<ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) <ul style="list-style-type: none"> ①屋根・外壁・床に断熱材、Low-Eガラスを採用 ④床:長尺シート20年、壁:ビニルクロス貼20年、EP-Si塗装12年、天井:化粧不燃PB30年 ④給水汚水雑排水管の主要用途3種についてはB以上で、Eは不使用 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) <ul style="list-style-type: none"> ⑤立地と周辺環境に配慮した自然環境の保全 ⑥既存+新設植栽で緑地が連続するような外構植栽計画を行った。沿道の植栽の充実 ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) <ul style="list-style-type: none"> ⑦BPIm=0.86 ⑧ ⑨LED照明の採用。高効率空調機の導入 ⑩ ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) <ul style="list-style-type: none"> ⑪自動水栓、節水型水栓、節水型便器 ⑫内装が乾式工法で分別性に配慮 ⑬消火剤は水 ⑬ODP=0未満かつ、GWP=50未満の断熱材を採用 	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔	
	<ul style="list-style-type: none"> ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) <ul style="list-style-type: none"> ⑭メンテナンスサイクルの長い製品を選定し、LCCO2排出量低減に配慮 	Q-3 1 3 3.2	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
	<ul style="list-style-type: none"> ■サービ性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) <ul style="list-style-type: none"> ⑯1.5倍の耐震性能 ⑰節水型衛生器具を採用 ⑰耐震クラスA対応 	LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制
	<ul style="list-style-type: none"> ■サービ性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) <ul style="list-style-type: none"> ⑳階高4.1m以上 ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) <ul style="list-style-type: none"> ㉑外構空間提供による地域貢献に配慮、街灯代わりとなる照明設置による防犯性の配慮など 	LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 ⑪ 2 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3 3.1 3.2 3.2.1 3.2.2 3.2.3 ⑬ ⑬	⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒
"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)		得点	3.6
<ul style="list-style-type: none"> ■サービ性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) <ul style="list-style-type: none"> ⑯1.5倍の耐震性能 ⑰節水型衛生器具を採用 ⑰耐震クラスA対応 	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)		得点	3.0
<ul style="list-style-type: none"> ■サービ性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) <ul style="list-style-type: none"> ⑳階高4.1m以上 ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) <ul style="list-style-type: none"> ㉑外構空間提供による地域貢献に配慮、街灯代わりとなる照明設置による防犯性の配慮など 	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲ Q-3 3 3.1 ⑳	⑱ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ ⑳ 地域性への配慮、快適性の向上	
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)		得点	2.4
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) <ul style="list-style-type: none"> ⑤敷地内既存樹木の存置+新設植栽配置により出来る限り自然環境を保全 ⑥緑地の緑が連続するような外構植栽計画を行った。沿道の植栽の充実 ■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善) <ul style="list-style-type: none"> ⑫ ⑮ 	Q-3 1 2 3 3.2 LR-2 2 2.5 LR-3 2 2.2	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ まちなみ・景観への配慮 ⑥ 敷地内温熱環境の向上 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑮ 温熱環境悪化の改善	